

* ご 挨拶 *

会長 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

1年が過ぎ、また新しい1年が始まりました。喜びに満ちた年でもあり、また苦勞の年でもありました。この機に、新年のご挨拶を差し上げたいと思います。

2009年が、皆さんに健康と愛と幸福、そしてお仕事での成功をもたらしますよう、お祈り申し上げます。

2008年は、皆さんが現在ご覧になっているように、バオバブの会が素晴らしい変容を遂げた年でした。会に係わっていただいている皆さんが、今より人間らしい、公正な社会の実現に、終生にわたって貢献しておられることに感謝申し上げます。皆さんが目指しておられる社会とは、人種や信仰に拘わらず、誰もが人間らしく暮らせる社会でしょう。

バオバブの会は、1999年より活動してまいりましたが、2008年1月20日からは、5人の運営委員の参加とともに任意団体のNGOとして生まれ変わりました。新生バオバブの会のファースト・ステップを踏み出した運営委員会にとって、すべてがとんとん拍子に運んだわけではありません。この年は特別に忙しい年だったのです。というのも、第4回アフリカ開発会議が5月28日から30日にかけて横浜で開催されたからです。この国際会議に関連して、数多くのイベントやシンポジウムが開かれました。JICAなどの政府機関や横浜市をはじめ、多くの機関・団体も、アフリカの文化や歴史、日常生活などを市民に知ってもらうためのイベントをあちこちで主催しました。私たちもそれらのイベントのいくつかに招かれ、できる限り多くの催しに参加しましたが、準備や実際の運営、イベント後のフォローなどに多くの労力を要したため、いつも容易にできたとはいえません。けれども、多くのイベントに参加し、数々のチャレンジをこなしてきたバオバブの会は、自然と力を付けてきたと確信しています。それは、私の母語であるウォロフ語、”LU KENN MAN, NIAA A KOKO DAQ” つまり、「ひとりでできることは、ふたりなら、もっとよくできる」という諺のとおりには違いありません。去年のバオバブの会の活動リストの中で最後に取り上げるべきは、第4回の福引きイベントです。それまでバオバブの会は私個人で行ってききましたので、準備から景品の配布まで、福引きイベントには3、4ヶ月もの時間がかかっていました。（ご存知の方もいらっしゃると思いますが、これには皆さんのご協力が必要でした。）今回は、2ヶ月以内で終えることができました。しかも、当選者の数を増やすことができましたし、また、チケットを買っていただいたすべての方への感謝のしるしとして、ささやかながらバオバブの会を象徴する景品をお贈りすることもできました。以前と比べれば画期的といえます。セネガルの子供たちへの支援についてお話しすると、バオバブの会は、小さいながらも着実なステップを歩んでいます。アフリカへの理解や支援の仕方など、この1年で会が学んだことは、将来の為の、とても貴重な経験になりました。

これまでも、つつがなく活動してきた運営委員会ですが、今後は、その団結がより強くなることを心から願い、また、そうなることを信じています。また、お互いの意思の疎通や信頼性、運営の透明性が維持されること、そして私たちの主張に賛同する多くの方がバオバブの会に参加し、会がより大きなものになることを希望します。

最後に、セネガルの子供たちや親たち、教師たちからの感謝の言葉を私の謝意とともにみなさんに捧げて、ご挨拶を締めくくりたいと思います。

* 年次総会報告 *

1月25日、横浜駅西口の神奈川県民サポートセンターにて、2009年度の年次総会が開かれ、会則改定、2008年度活動報告、2008年度決算、2009年度活動計画、2009年度予算などに対し、活発な討議がなされました。一部をご紹介します。

● 2008年度のセネガルへのサポート活動

- ・昨年度通り、3つの小学校（サルーム・ジャネ クール・サバシィ・チャム ンジャゴ）と1つの中学校（サルーム・ジャネ）に、新学年度のための援助金を送りました。
- ・ンジャゴ小学校には、机と椅子を補充するための援助金を送りました。
- ・より適切なサポート活動のために、（1）学校便覧（2）援助金受領証（3）使途報告書を作成し、上記の学校に送付しました。（1）は2校（クール・サバシィ・チャム小学校とンジャゴ小学校）とから、（2）は全校から返送されました。

● 2009年度の活動計画

- ・国内では、昨年度通り、5月にアフリカン・フェスタ、秋に横浜国際フェスタとみどり多文化フェスタに参加する予定です。その他の活動につきましては、決定次第、お知らせします。
- ・セネガルへのサポート活動としましては、3つの小学校と1つの中学校に、定例の援助金を送ります。
- ・クール・サバシィ・チャム小学校の図書館が、開設の予定です。

● セネガルからの感謝状

- ・年末に届いた、クール・サバシィ・チャム小学校からの手紙をご紹介します。

クール・サバシィ・チャム小学校 2008年12月12日

バオバブの会会長 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ 様

教員、PTA、母の会を代表し、あなたとバオバブの会の皆様、また会友の皆様の、私どもの学校に対する絶えざるサポートに対し、深い感謝の意を表することを大変に嬉しく存じます。皆様のサポートは、セネガルの学校、とりわけ当校の発展に対する強いご意欲を示すものであり、それについても深く感謝申し上げます。

皆様のサポートによって、困難の多い学年度開始にあたり、次のように多くの課題を解決することができました。

- ・学校菜園の資金調達
- ・ノート、ボールペン、鉛筆等の購入
- ・バケツ、ボール等、教材の購入
- ・学校食堂への補助
- ・運営資金の強化

これらの活動は、皆様と子ども相互の、信頼と透明性に基いた協同があつて可能となったものであります。そこで、子どもは、この手紙に、会計に関わった者の署名のある、正式な、全ての請求書と受領証を添付いたします。

また、長年にわたる皆様のサポートのおかげで、子どもの教育活動に、多大な成果が生まれております。つきましては、以下のように、2007～2008年度における成果をまとめ、皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。

1. CM1（5年生）の子供たちは、地域の学力コンクールにおいて、決勝戦まで勝ち進みました。

2. 2008年6月、ニュロにおいて行われた、算数また書き取りオリンピックに、6人の子供たちが出場しました。

3. 6年生の子供たちは、小学校過程卒業試験では100%、中学校進学試験では85%の合格を果たしました。

4. 他の学年の子供たちも、十分に満足できる学習成果を収めることができました。

5. 本校は、県内にある217の小学校の中で、上位14校の中に入りました。

最後に、サバスティ村の全村民からも、心からの感謝を申し上げます。子どもへのサポートに関わってくださったすべての皆様に、どうかよろしくお伝え下さい。

* * * * *

今年度の援助金20万フランセーフア（略称FC）は、運営委員会において、以下のように使われることに決まりました。

- | | | |
|---------|--------|----------------|
| ・学校菜園 | 7万FC | 金網による囲い、その他の設備 |
| ・学校食堂補助 | 4万FC | 毎月5千FC×8ヶ月 |
| ・教材購入 | 4万5千FC | 各種教材 |
| ・設備 | 1万FC | 校庭への植林 |
| ・運営費 | 3万5千FC | 書類、事務手続き費等 |

追伸：上記に関する請求書と領収書は、次回の手紙に同封いたします。

・ンジャゴ小学校からは、写真と、下記のような日本語のメッセージが送られてきました。原文はローマ字です。

「こんにちは。こんばんは。ありがとう。ありがとうございます。

学年が始まりました。チャリティー・コンサート、ありがとう。

嬉しいです。

ンジャゴ小学校です。

これからも、よろしく。

2008年11月23日、日曜日」

* 二つの映画のちらしを同封しました。

● 『ユッサー・ンドゥール 魂の帰郷』

2月14日（土）より、シアターN渋谷にてロードショー

特別割引券（300円割引）を同封しましたが、シニア割引、水曜割引もあるようです。

上映時間は 11：35 14：00 16：25 18：00 です。

その他、詳細は劇場にお問い合わせください。TEL：03-5489-2592

● 『バオバブの記憶』

3月14日（土）より、

渋谷シアターイメージフォーラム、ポレポレ東中野にてロードショー

こちらの映画のキャンペーンには、バオバブの会が、一部、協力の予定です。

その詳細は、後日、お知らせします。

* 事務所の住所（会長宅）が変わりました。ご注意ください。

* バオバブの会は、皆様に会の活動をお伝えするため、本年度も、随時、ニューズレターを発行・送付していきます。が、ご事情により、今後のニューズレターをご辞退される方は、下記までお知らせください。

* バオバブの会では、常時、会員を募集しております。入会を希望される方は、下記までお問い合わせください。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993-35

TEL&FAX 045-373-0059

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行 八重洲通り支店普通口座 no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=145215